

二級水系
流域治水プロジェクト

屋部川水系流域治水プロジェクト（案）

沖縄県

○屋部川及び西屋部川流域は、小中学校等の教育施設、病院及び福祉施設、各種行政施設など多くの都市施設があり、沖縄本島北部地域の主要な都市基盤が集積する地域である。平成19年8月の豪雨においては、名護市為又地区で大型店舗兼アパートの床下浸水や道路冠水等の被害が発生するなど浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○屋部川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、河道掘削、橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、河川監視カメラの整備、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、河道掘削、橋梁架替、適宜浚渫	県 名護市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害対象を減少させるための対策	・下水道の排水施設整備	名護市			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラの整備 ・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県 名護市			

屋部川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○比謝川流域は、沖縄市、嘉手納町、読谷村等の市町村にまたがっており、上中流域の大部分を沖縄本島中部の中心都市である沖縄市が占め、下流域は嘉手納町の中心地として公共施設や宅地が集中しており、平成13年9月の台風16号の出水では、国道330号上流で、床下浸水4戸、床上浸水95戸の甚大な被害が生じた。このことから、早期に上流展開が図られるよう緊急的な対策を推進する必要がある、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○比謝川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
被害対象を減少させるための対策は、下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備による浸水被害軽減を図る。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、ハザードマップ・マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、危機管理型水位計、簡易型カメラ設置等の整備、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> 護岸整備、橋梁架替、浚渫 樹木伐採、防草処理等 既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流） 	県 沖縄市・うるま市			
	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為に伴う流出抑制対策 	開発事業者			
被害対象を減少させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> 下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備 	沖縄市、うるま市、 嘉手納町、読谷村			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計、簡易型カメラの整備 水位計、河川監視カメラの整備 洪水・高潮浸水想定区域の指定 	県			
	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの作成 マイタイムラインの作成等 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 	沖縄市、うるま市、 嘉手納町、読谷村			
	<ul style="list-style-type: none"> 河川監視用カメラ設置 河川水位・雨量観測データ等自動収集 防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 	県、沖縄市、うるま市、 嘉手納町、読谷村			

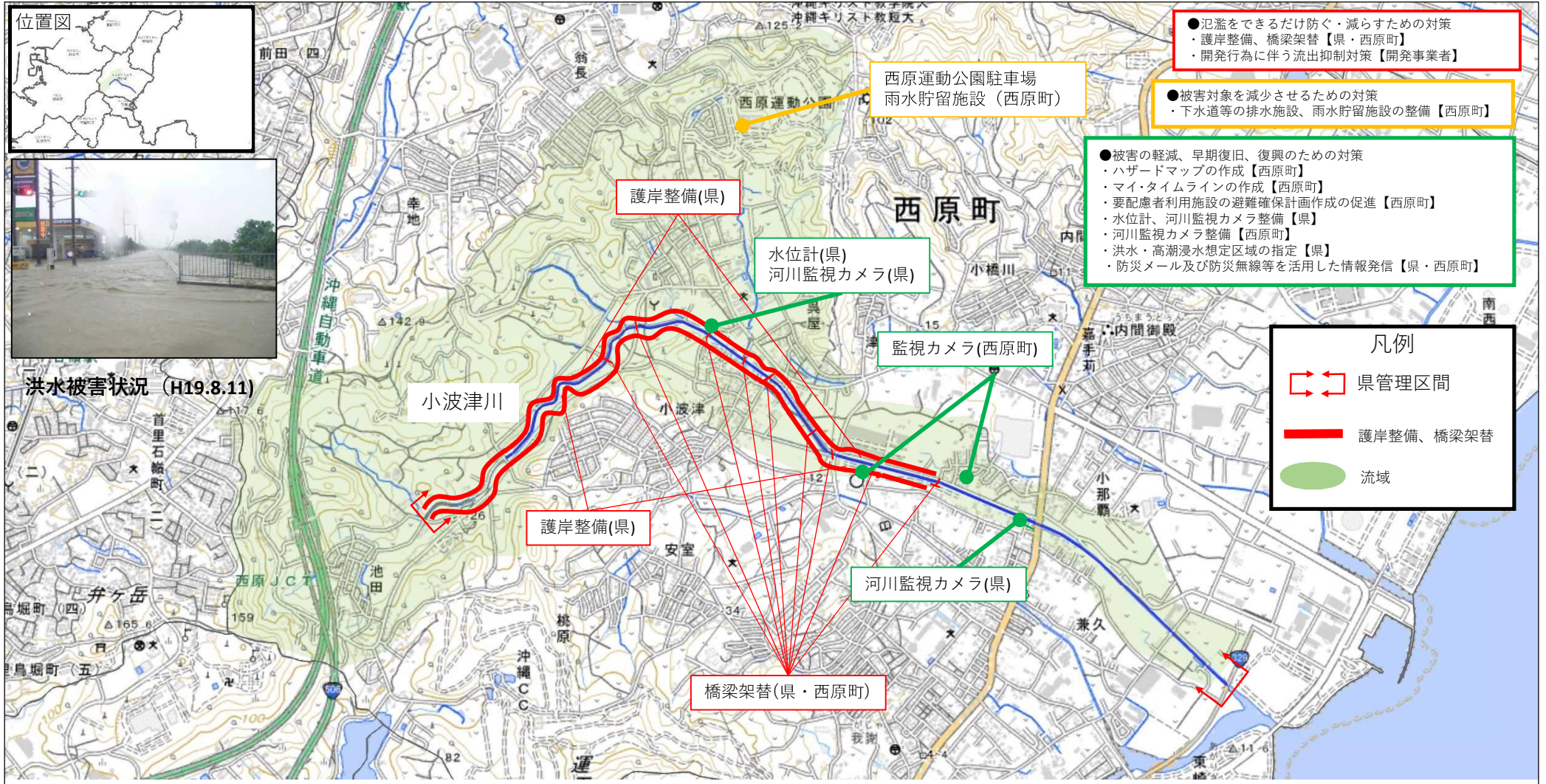
比謝川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○小波津川は都市化の進展による保水・遊水機能の低下による洪水流出の増大や河川の流下能力不足が相まって、平成10年2月の集中豪雨、平成11年9月の台風、平成17年6月の集中豪雨、近年においては、平成29年6月、令和元年6月の集中豪雨で床上・床下浸水などの甚大な被害を受けたため、計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○小波津川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
 被害対象を減少させるための対策では、マイ・タイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、河川監視カメラの設置等による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替	県、西原町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設、 雨水貯留施設の整備	西原町			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成 ・要配慮者利用施設の 避難確保計画作成の促進	西原町			
	・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・水位計、河川監視カメラの整備 ・防災メール及び防災無線等を活用 した情報発信	県、西原町			

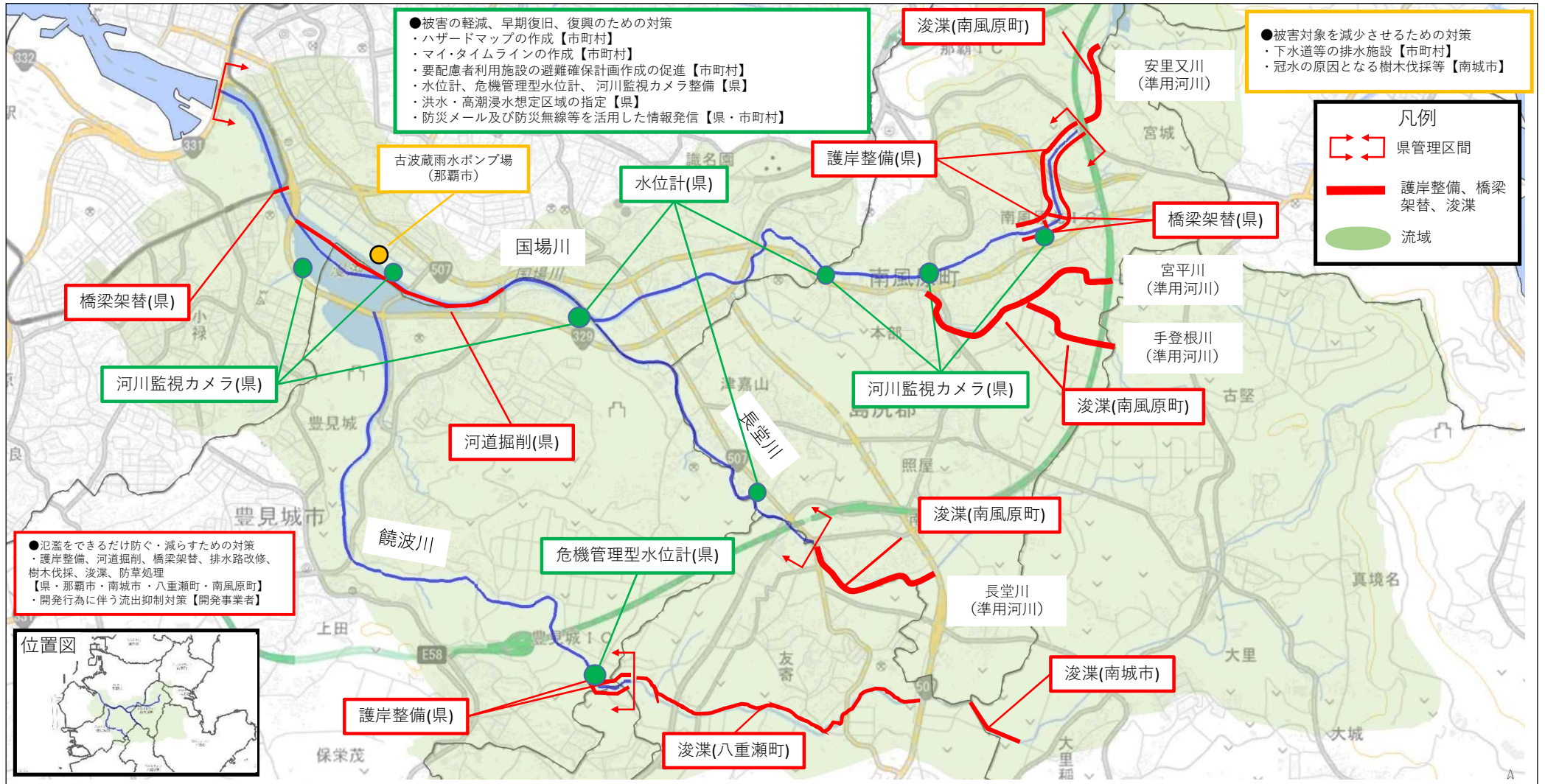
小波津川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

○二級河川国場川の未整備区間においては、河川断面が狭小なため、浸水被害が発生しており、平成11年9月の台風18号においては、浸水戸数163戸、道路冠水などの被害が報告されている。このことから、未整備区間となる平原橋から上流に向けて河川改修を実施し、整備区間の計画洪水規模の出水に対する対策や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○国場川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策は、護岸整備、河道掘削及び橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害対象を減少させるための対策は、下水道等の排水施設整備による浸水被害軽減を図る。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、ハザードマップ・マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、危機管理型水位計等の整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替、排水路改修、樹木伐採、浚渫、防草処理	県、那覇市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町	破線（事業中、取組中）		
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者	破線（事業中、取組中）		
●被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設整備	那覇市、豊見城市、与那原町、南風原町、八重瀬町	実線（維持管理、フォローアップ等）		
	・冠水の原因となる樹木伐採等	南城市	実線（維持管理、フォローアップ等）		
●被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・危機管理型水位計の整備 ・水位計、河川監視カメラの整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県	実線（維持管理、フォローアップ等）		
	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	那覇市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町	実線（維持管理、フォローアップ等）		
	・防災メール及び防災行政無線等を活用した情報発信の強化	県、那覇市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町	実線（維持管理、フォローアップ等）		

国場川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

破線：事業中、取組中
実線：維持管理、フォローアップ等